



聖母と花とアンティークの
旅～フランス・パリ編～

Chie

旅の準備

私にしては長くて遠いところへと旅をする。

この旅は1年以上前から行く準備を始めた。

最初はルルドでのヒーリング研修ということで迷っていて、でもなかなかヨーロッパまで行く機会もないし・・・ということでギリギリまで迷っていた。

もちろん経済的な負担もかなりある。

その費用をどうやって工面するのかとか。

しかし、行くということを決めて、準備を始めた。

団体だし、移動も多いので、決めることがたくさんあった。

私のイメージではルルドと南フランスに行くというだけだったが、

2016年に入ってエアチケットを購入する段階で

イギリスも行けるじゃないかと思い、寄ることを決めた。

それは本当に行きたかったからすごくワクワクした。

スケジュールは以下ようになった。

パリ3泊

ルルド4泊

カルカソンヌ2泊

イギリス3泊

羽田からの往復なので、高松から前日に羽田の近くで泊まり、

帰りは飛行機で一泊の形になるので計14日間の旅となる。

移動も多いし、出ていく費用もそれなりなので

ずっと緊張していた。

途中、一人で行動のときもあるし。

でもこの旅で実現したかったのは
ずっと行きたいと思うところに行く自分になることだった。

決めたときはまだまだ遠くにあったルルドに本当に行けるのか・・・。

それは実際に到着するまで現実感はずっとなかった。

ついにきた出発日。

選んだ航空会社はJAL。

さすがに日本の航空会社なので、安心できる。

乗ってみて、非常に快適だった。

座席も昔に比べてエコノミーでもゆとりがあるし、

エンターテインメントもすごく充実している。

座席スクリーンも昔よりも少しワイドになっている。

そういえば昔はひとつのスクリーンにみんなが同じ映画を見るような時代もあったんだけど・・・。(古い・・・)

あと、トイレも随分広くなっていて驚いた。歯ブラシセットまで置いてあるし。

朝便で、私はずっと寝なかった。

映画は3本みた。新作映画を見る気満々。

「スポットライト」

「レヴェナント蘇えりし者」

「ズートピア」

レヴェナントは見ようと思っていたので、旅の初めに見るにはかなりハードだけど、食い入るように見て、ハードな旅の予感を十分に感じさせた。

あとはときどき日本のバラエティー(アメトークなど)やニュースを見つつ、わりと飽きることもなかった。

フランスは昨年のテロの影響で観光客は激減して、閉店になったカフェもあるほどだが、確かに行きは飛行機は余裕があった。

私の隣は空席。前の人は3人掛けの椅子に一人。

だから、けっこう楽だった。

足をちょっと横にのせたりできたから。

機内食

私は和食のお寿司を選択。



ランチ軽食はモスバーガー。なんと自分で作るようになっている。



12時間あまりでフランスの上空。
行きはたぶん起きてると思っていたので窓際席を指定していた。
すぐ後ろはトイレの壁なので、後ろ座席はない。



上空からみたフランスの大地は日本のように山はなかった。
ひたすら緑の農地が広大にあったのが印象的だった。

長い一日

日本時間を10時台に出発し、パリに着くのは同じ日の夕方4時半くらいになる。
時差の関係で初日はとても長い。

パリのシャルル・ドゴール空港に着くと、雨だった。
雷雨警報のため、しばらく出られなかった。

パリはしばらく前から天気が不安定で、セーヌ川が浸水というほどの大雨が降ったこともあった。

ようやく空港に出たところで待っていたのは同じように飛行機内で待っていたと思われる大勢の人たちだった。
だから、入国は大混雑。
長い列を待ってようやく出るまで1時間くらいはかかった。

そしてそこから車を手配してもらっていたのでエールフランス組を待つことさらに1時間近く。

空港からパリ市内まではいろいろな方法で行くことができるが、私たちは日本から、現地の日本人を通した送迎サービスを利用した。
宿泊ホテルがいくつか分かれるグループにはとても便利だと思う。
タクシーと違い、料金もすでにわかっているし。

やっとそろったところで出発だが、さらにパリの市内はサッカーの試合やらイベントやらで最近非常に交通が混雑しているようでなんとホテルに着くまでさらに2時間くらいもかかったのだ。

長いフライトの後にこれはかなり疲れた。

おまけに私は最初の二日、友達と別のホテルになってたので友達とすれ違いになり、会えなくて、ホテルのWi-Fiの使い方がよくわからず、かなり疲れているのにさらに疲れて、シャワーを浴びることなく眠りについた。

ほんとパリの移動は大変だったー。

最初に泊まったホテル。
モンパルナスということだけど、だいぶ離れている。
市内から少し外れな場所だけど、地下鉄の駅のすぐ前なので一人だとわりとよいかもしれない。
しかも、この旅で泊まったホテルの中でもっとも窓からの眺めがよかった。
ホテルのお兄さんもとても愛想がよかった。



暗くなるのは夜の10時くらい。
窓からは満月と下にトラムが走っているのでトラムも見える。
ヴァンプの蚤の市に行く人はこのトラムですぐに行けるよう。



近くにスーパーもあり、わりと大きな通りに面しているので夜はにぎやか。
目の前にクレプリーの屋台もあるので、朝食に食べることもできる。

さて、旅の二日目。本格的な観光だ。

フランスもパリも初めてのお登りさんで、
時間的には2日間しか使えないからほしい

パリでの目的は
ルーヴル美術館
ノートルダム寺院
アンティーク雑貨屋さん
ハーブ薬局
オーガニックマルシェ

を決めていた。

この日はまずルーヴルに行って、すぐ近くにあるハーブ薬局へ行こうということになる。
その後、サンジェルマン・デプレ教会とボン・マルシェの食品館、奇跡のメダイ教会へと行くことになった。

土曜日なので、たいていパリのお店は日曜定休だから、ハーブ薬局やボン・マルシェはこの日に行かないといけなかった。

友達と3人で地下鉄に乗って、ルーヴル美術館へ行く。

パリのメトロは初めてだけど、切符の買い方さえわかればわりと簡単。
ロンドンのメトロも同じ。
路線を把握しておくことが肝心。



移動が速いし、スムーズだ。

パリの建物の窓辺はよく赤やピンクの花で飾られている。
普通の住宅だろうが、たいてい彫刻が施されている(笑)



ルーヴルでは友達にまかせて見たい絵のエリアを絞って見に行った。
とても広いのでかなり歩く。
そして、途中階段とかあったりして、さらに足が痛い。

トイレも日本のようにあちこちないから、見つけたときに行っておくのがよいだろう。
海外のトイレでの必需品として水に流せるティッシュペーパーはかなり重宝した。
あと食事のときにおしぼりは出ないし、便座を拭くにも使える抗菌のウェットティッシュも必須だ。

ルーヴルは見ごたえたっぷり、聖母マリアがいたところがあった。
この像ばかりの宗教的なコーナーは最初に見ただけで、すごくよかった。







モナリザはさすがに人が多かった。



日本では考えられないけど、写真取り放題なのよ。
みんな、絵を前にして必ず自分を含めて写真を撮っていた。
とくに中国系の人たち・・・。





パリのハーブ薬局

パリといえばハーブ薬局に行きたい!というのは最初からあった。

ハーブを日本での漢方のように日常的に自分のケアのために使っているのが当たり前のフランスなので。

「パリジェンヌの薬箱」という本がとても参考になった。

その中でも一番ルーヴルに近くてアクセスしやすいパレロワイヤルの薬局に行くことにした。



店に入ったところで日本人に声をかけられた。

なんとここで働くスタッフだそう。

日本語で相談できるのでとてもありがたい!!

手に取る商品はどれもフランス語でしか書かれていないので大助かりだった。

早速私は胃腸が弱っていたので、胃腸の弱りと疲れのハーブティーとジェモがほしかったので、同じくストレスで弱った胃腸の働きを整えてくれるイチヂクのジェモを勧められた。

あとは飲めるレベルのオーガニックのフローラルウォーターもたくさんあったからローズウォーターをチョイス。

精油も買って、安眠のためのハーブティーも購入。

あと足がとにかく痛いので、足の筋肉疲労用のジェルも出してもらった。

まーとにかく満足(▽`*)

店内の写真も自由に撮っていいですよーとの声で撮らしていただく。



ジェモのコーナー。

ジェモは植物の新芽から作られるエキスで、一般的なハーブエキスよりもパワフルだそう。

フランスにしかないので、一度試してみたかった。

飲んでみたらグリセリンの甘い味がした。わりといい感じ。

胃腸の不調はすぐによくなった。



購入したもの



Hydrolat
de
ROSE
DAMAS
BIO

GSA
POCKET

Gel Surconcentré
Articulaire

Silicium Organique
Harpagophytum
Huiles essentielles
de Gaulthérie, de Katalfray
et de Poivre noir

AQUASILICE

MICRO-CONCENTRE
FIGUIER
Bourgeons

Michel Pierre
Plus

30 ml

Huile essentielle
100% pure et naturelle
pin sylvestre
résine sylvestre
des petites charmes



ハーブティーはとても美味しかった。
香りがとてもよくて、スーツケースに入れておくとずっといい香りがしていた。

パリ二日目の昼食。

キッシュをいただく。美味しかった♪



天気は着いた日から夕方あたりになると雨が降り出すことが多い。

■パリの人々で気づいたこと

・ローラースケートのようなもので移動する大人が多い。(セーヌ川沿いで大会?みたいなのがあり

大量のローラースケートたちが移動してた。ベビーカー押しながらの人もいた!)

・夜は遅くまで明るいせいか、大変にぎやかで外を歩いてる人が多い。

一方朝はわりと人がいない。土曜の朝だったから?

・おじさん同士がつるんでいることが多い。カフェもおじさん率高し。暇なのか?

・男性でも赤い服を着ている人が多い。赤いパンツとか。でも違和感なし。

女性はかなりの率でパンツ派が多い。ロンドンでもそうだけど、基本ピッタリしたラインがでるパンツを履いている。

さて、ハーブ薬局の後は移動して、サンジェルマン・デ・プレ方面へ。

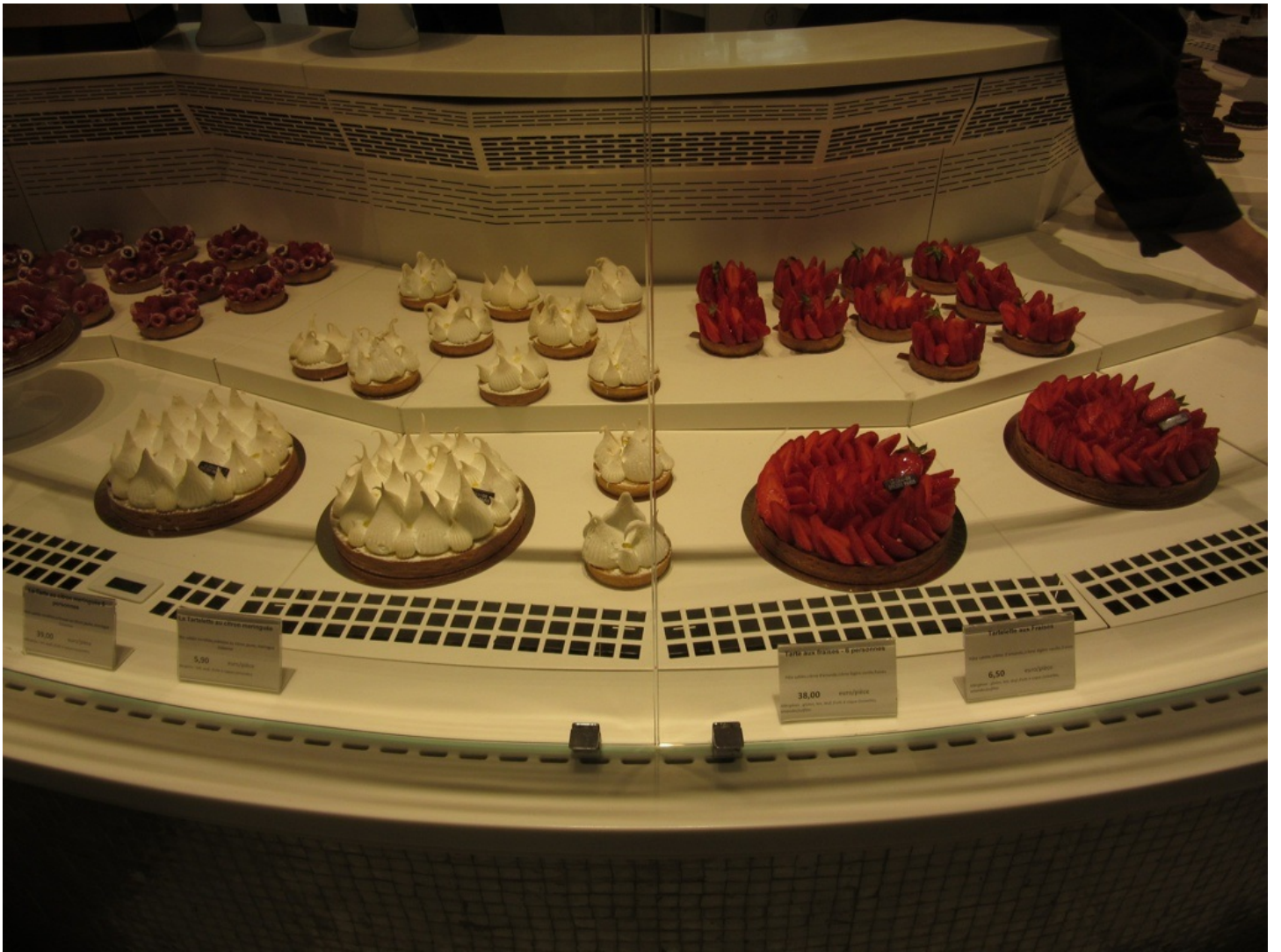
サンジェルマン・デ・プレ教会とボン・マルシェの食品館、奇跡のメダイ教会へ行った。

サンジェルマン・デ・ブレ教会の写真をあまり撮ってなかった。



ここでけっこう雨が降ってきたんだっ。

ボン・マルシェの食品館で夕食にお惣菜など購入。
ケーキコーナーのイチゴのタルトが美味しそうだった。
マカロンをここで購入。



とにかく雨がけっこう降ってたので、疲れてたしメダイ教会のあとはホテルに戻ってご飯を食べた。



夏至直前のヨーロッパは夜の9時くらいでもこんな感じ。
だから夜はかなり人が歩いている。
パリでは犬の散歩をしている人が多かった。



パリ3日目。

この日の予定は

オーガニックマルシェとノートルダム寺院、アンティーク雑貨屋さん

まず大変なのはこの日ホテルを移動するので
徒歩20分くらい荷物を持って朝に移動したこと。

人は少ないけど、けっこう大変だった・・・。

移動先のホテルに友達がいるので

とりあえず荷物を友達の部屋に置かせてもらう。

そして軽くご飯を食べて外へ出かける。

すると近くで蚤の市らしきものをやっていた。

友達が見てみたいというので、ぶらぶら見てみる。

庶民がやっているフリマという感じだけど、中にはアンティークもあった。



パリの生活が垣間見られるような感じで楽しかった。

友人は自分の子供用に何かを購入。

私はひとつの箱の中に何体かあるアンティークドールに目がとまる。
以前、倉敷のアンティークドールのお店で随分高かったよねーと思い出す。
私は人形は好きだけど、なかなか手に届かない価格なので
購入に至らないことが多い。

ひとつ気になる子を見つけて、売主の女性に値段を聞くと
「10ユーロ」という。
ちょっとまけてもらおうかと思って聞いてみたら
ダメだそう。とても古いからと。

とはいっても日本で10ユーロでは買えないかも。
たぶんセルロイド製ではないかと。

ということでお買い上げ。



フランソワくんと言った(笑)

パリでは清々しいけど、日本に帰って、高温多湿な場所に置くと若干暑苦しい服装だ(^^)

蚤の市、気力があればヴァンプの蚤の市に行って見たかったけど、ここで見れてよかった。

そして今日の目的のひとつ
マルシェ・ビオ・ラスパイユ

オーガニックのマルシェへ。







新鮮な野菜や果物、お惣菜など目白押し。
すべてオーガニックと思うとうれしい♪

ここでミニジャムを3つ買う。
ルバーブと栗とフランボワーズ。
小さいサイズだったから、持って帰りやすいと思って。

今のところルバーブだけ食べたけど、とても美味しい♪

オーガニックスープ2種類とルバーブときのこのキッシュを購入して
3人でシェア。
途中、パン屋さんでバゲットも一本。

リュクサンブール公園でピクニックする。
このために日本からスプーンとフォークセットと敷物など持参していた。



スープはーフサイズなのにもものすごい量だった・・・。
ひとつはグリーンのレンズ豆のスープ、もう一つは野菜のスープだったかな。
どちらもものすごく美味しい♪
ハーブが効いている。

太陽の光があたらないとちょっと寒かったけど、
陽がさしてきたら気持ちよかった。

公園では大量の人たちが走っていた。
日本の皇居まわりのようなものだろうか。

パリの人たちは健康への意識が高そう。



ノートルダム寺院

さてここからノートルダム寺院へと移動する。

ちょっと地下鉄に乗って。

地下鉄では切符を買う自販機にはりついて何かしようとする少年がいた。

なかなかしつこい。

うまくお金が入らないので友達が駅の人に聞いてると

アッという間に少年は失踪。足がはやい。

パリにはスリや物乞いが多いと聞くが、けっこうノートルダム寺院近辺は多いっぽい感じがする

。

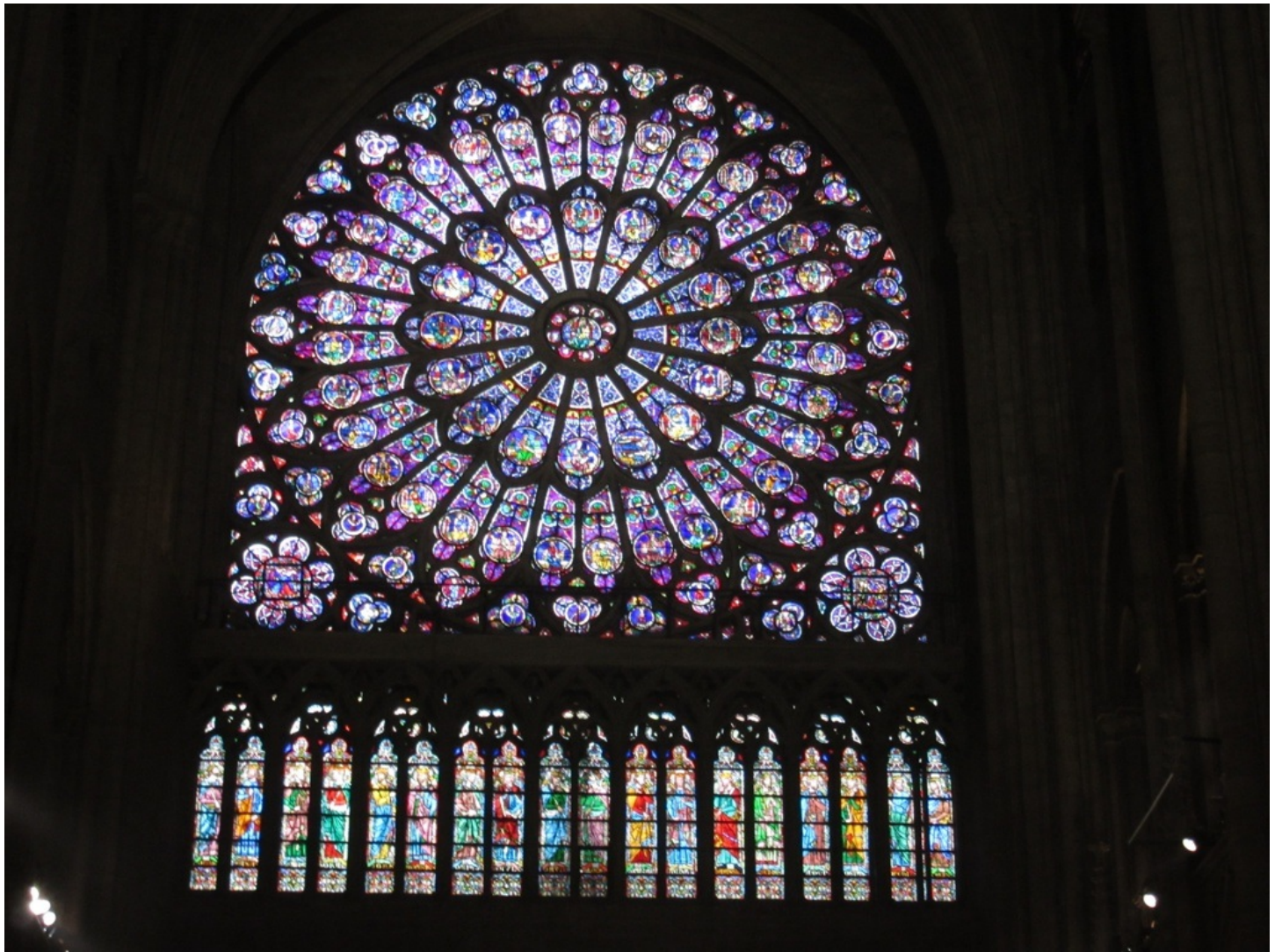
ノートルダム寺院



何かミサのようなものをやっていた。

ジャンヌ・ダルクの像が見たかったのだけど、気づくとすぐ後ろにあった。











静謐な空間だけど、やはり人がすごく多い。

友達2人は塔を登るというが、私は疲れて、下で待つことに。

いろんな人に声をかけられる。
(署名してくれとかいろいろ)

ようやく友達と合流して移動する。

ミカエルとアンティーク雑貨屋

アンティーク雑貨屋さんが軒をつらねるサン・ポール村を目指して歩くが、

間違ってセーヌ川の反対側にわたってしまった。
すると見たかったミカエル像があった。

サン・ミッシェル駅にあるミカエルだ。



しばし、このミカエルを見つつ、近くのカフェでお茶をする。
カプチーノがとても美味しい♪

自分がパリ・フランスに来ているということはずっと先まで
信じられない感じだったが、
だいぶ自分からすると非日常なんだな—と思う。
すべてが映画の世界のよう。

またシテ島を渡ってセーヌ川の反対側をわたる。



途中、鳥と花の市を見ながら。







修道院で作られている雑貨のお店が近くにあるので探すのがなかなか見つからず
やっと見つけたらお休みだった。

そのあとマレ地区のサン・ポール村へ行くが、
一番行きたかったお店が閉まっていた(._.)





ガイドブックでは日曜もやっているはずだったが・・・。

アンティーク屋さんなんて不定休のようなものかもしれない。

しかたないので開いているお店をちょこちょこみる。

アンティークなんてやはり高い。

最近、日本から買い付けに来る人はフランスよりも物価の安いヨーロッパの国の蚤の市やアンティーク屋さんで買っていく人が多いかも。

フランスはヨーロッパの中でもまあまあ物価が高いので。

しかし、一軒陶器が安いお店を発見。しかもかわいい。

ここで3点購入。

これからまだまだ旅が続くのに割れ物を買ってしまっても大丈夫か??と思いつつ奥に行くほどかわいいものがあったらもっと買いそうだった。

で、お店のオーナーの女の人在必至で割れないように丁寧に梱包してくれた。

すごくかわいい感じの人だった。

アンティークが大好きで始めたんだろうな。

が、そのわりに他の店もそうだけど、かなり無造作に置いてて

ほこりがついてるものもあったりする。
その辺はあまり気を使ってはいないのかもしれない。

お皿2点(ハートのお皿は店頭で2ユーロだった)とティーカップセットひとつ。



再びルーヴル

で、まだ時間があるので

友達がまたルーヴルに行きたいというので行く。

私はかなり足が痛い。

途中、休みつつ歩く。

エジプトコーナーを中心に今度はみる。







私は足が痛すぎる・・・。

そしてホテルに帰る。

今日はもう一人パリに着いたばかりの友人と相部屋になる。

4人で近くの中国系のお店でごはん。

翌朝は早くから飛行機の国内線でルルドへと移動予定。
パリでの目的はだいたい達成できたー。

この続きはコチラへ↓

[聖母と花とアンティークの旅～フランス・ルルド編～](#)